

項番	要件	回答	補足説明
感染管理(ICTweb)システム			
1	感染管理システムは、以下の基本要件を満たすこと。		
1-1	患者配置状況・細菌検査結果・投薬内容情報等の有機的収集管理に基づき院内感染対策を管理・支援するWebシステムであること。		
1-2	本システムが動作する端末側ブラウザは、Microsoft Internet Explorer 5.5以上で動作すること。		
1-3	ログイン機能として以下の要件を満たすこと。		
1-3-1	ログインユーザIDとパスワードを入力し、システム画面に移行する。		
1-3-2	ユーザIDに権限を持たせ、機能制限を設けることができること。		
1-4	システム起動画面について以下の要件を満たすこと。		
1-4-1	インフォメーション画面を表示し、微生物検査室からの告知やファイル(EXCEL, PDF)を参照できること。		
1-4-2	告知内容、添付ファイルは容易な操作で変更可能であること。		
1-5	微生物検査データの更新機能について以下の要件を満たすこと。		
1-5-1	弊社細菌検査部門システム(サポートシステム、もしくは、SMILEh)に保存されている、微生物検査データを取り込めること。		弊社製以外の部門システムは不可
1-5-2	弊社細菌検査部門システム(サポートシステム、もしくは、SMILEh)のデータおよびマスタは、データ更新時、マスタデータ更新時に、本システムのデータも更新できること。		弊社製以外の部門システムは不可
2	感染管理システムは、以下の機能要件を満たすこと。		
2-1	検出菌一覧画面について以下の要件を満たすこと。		
2-1-1	注目する耐性菌、院内感染菌、無菌材料菌検出(血培陽性)を期間指定・病棟指定で一覧表示できること。		
2-1-2	注目する菌(耐性菌、感染菌)はマスタで設定可能とし、菌コード、材料、薬剤感受性の組み合わせで設定可能であること。また、無菌材料での、菌検出についてマスタ設定が行なえること。		
2-1-3	一覧表示の際、菌の新規検出か、継続判断をしてマークを表示できること。マークは任意の画像に設定でき		
2-1-4	また、新規・継続判断を検索指定条件にできること。		
2-1-5	一覧表示されている検体の細菌検査結果を参照できること。		
2-1-6	一覧表示されている検体の細菌検査結果をエクセル形式でファイル出力できること。		
2-1-7	一覧表示されている検体結果から新規報告書を出力できること。		
2-1-8	一覧表示されている検体結果から病棟別のリスト報告書を出力できること。		
2-1-9	病棟／菌／材料／医師／科 別にソートをしてその傾向の考察を支援できること。		
2-1-10	菌検出している注目すべき患者の細菌検査履歴を一覧表示できること。		
2-1-11	菌検出している注目すべき患者の薬剤耐性傾向を調査可能であること。この時に、菌、材料グループの指定も可能であること。		
2-1-12	検査技師の日報・週報作業機能として以下の要件を満たすこと。		
2-1-12-1	注目する耐性菌、院内感染菌、無菌材料を期間指定してリスト表示できること。		
2-1-12-2	病棟別に菌検出リストを作成できること。		
2-1-12-3	新規菌検出報告書を印刷し、各病棟へ報告可能なこと。		
2-1-13	ログインした看護師の所属病棟の菌検出状況を病棟指定・期間指定してリスト表示可能なこと。		
2-1-14	ICTの注目する耐性菌、院内感染菌の検出やその傾向の調査機能として以下の要件を満たすこと。		
2-1-14-1	注目する耐性菌、院内感染菌指定をしてを期間指定したリスト表示可能なこと。		
2-1-14-2	病棟／菌／材料／医師／科 別にソートをしてその傾向の考察を支援できること。		
2-1-14-3	菌検出している注目すべき患者の細菌検査履歴を一覧表示できること。		
2-1-14-4	指定された患者の特定菌に着目して薬剤耐性傾向を調査可能なこと。		

項番	要件	回答	補足説明
2-2	ICTラウンドのための情報収集・管理機能として以下の要件を満たすこと。		
2-2-1	患者リスト画面について以下の要件を満たすこと。		
2-2-1-1	注目する耐性菌、院内感染菌、無菌材料を期間指定して感染症患者を一覧表示可能なこと。		
2-2-1-2	ICTにて「注目患者」と認定した患者を一覧表示できること。		
2-2-1-3	指定されたデバイスが挿入された患者を一覧表示可能なこと。		
2-2-1-4	指定された投与薬が投与された患者を一覧表示可能なこと。		
2-2-1-5	手術が実施された患者を一覧表示可能なこと。		
2-2-1-6	感染管理システムにて入力されたラウンドコメント情報が存在する患者を一覧表示可能なこと。		
2-2-2	ラウンド一覧(入力)画面について以下の要件を満たすこと。		
2-2-2-1	特定患者への活動履歴として細菌検査結果データとラウンドデータ等を一覧表示可能なこと。		
2-2-2-2	ラウンドデータ(保菌・感染/ラウンドフォロー開始・解除)を登録できること。		
2-2-2-3	移動情報データ(入院・退院・病室移動/科/病棟/病室)を登録できること。		
2-2-2-4	デバイスデータ(デバイス種類/部位/装着・抜去/デバイス感染)を登録できること。		
2-2-2-5	手術情報データ(リスク種別:ASA分類、創分類、手術時間)を登録できること。これらよりリスク係数算出でき		
2-2-2-6	投与薬データ(薬剤名/投与量/投与方法)を登録できること。		
2-2-2-7	注目すべき患者に対して「注目患者」として指定し、抽出可能なこと。		
2-2-2-8	病院職員のワクチンおよび検査結果の履歴等のデータ管理機能を有すること。		
2-2-2-8-1	病院職員のワクチンおよび検査結果のデータは手入力可能なこと。		
2-2-3	期間指定をして、熱型表画面に体温・WBC・CRP・投与薬・デバイス情報を一覧表示可能なこと。		
2-3	統計機能について以下の要件を満たすこと。		
2-3-1	細菌検査データの基本統計機能について以下の要件を満たすこと。		
2-3-1-1	ICTweb画面から基本統計作業を実行可能なこと。		
2-3-1-2	統計出力指示入力後、実行し統計表とグラフを表示可能なこと。		
2-3-1-3	以下の統計フォームが出力できること。		
	①検体数カウント		
	②菌出現率		
	③菌陽性率		
	④菌検出率		
	⑤薬剤感受性率		
	⑥累積MIC率		
	⑦特殊検査陽性率		
2-3-2	細菌検査データの応用統計機能について以下の要件を満たすこと。		
2-3-2-1	本システム画面から応用統計作業を実行できること。		
2-3-2-2	統計出力条件をマスタ化し保存することができること。		
2-3-2-3	マスタより統計出力条件を選択後、実行し統計表とグラフを表示可能なこと。		
2-3-2-4	以下の統計フォームが出力できること。		
	①検体数カウント		
	②菌出現率		
	③菌陽性率		
	④菌検出率		

項番	要件	回答	補足説明
	⑤薬剤感受性率（スペクトラム表を含む）		
	⑥累積MIC率		
	⑦特殊検査陽性率		
2-4	細菌検査結果照会機能について以下の要件を満たすこと。		
2-4-1	患者毎に微生物検査結果の照会表示ができること。		
2-4-2	患者IDと採取日の期間、もしくは、操作当日より特定期間で検索することができること。		
2-4-3	検索一覧から結果詳細画面、もしくは報告書イメージを表示できること。		
2-4-4	結果詳細画面では、細菌システムに取り込んだ塗抹鏡検画像の表示ができること。		
2-4-5	結果詳細画面では、菌情報の表示ができること。		
2-5	感染調査機能について以下の要件を満たすこと。		
2-5-1	感染分布機能について以下の要件を満たすこと。		
2-5-1-1	対象期間、集計間隔、特定感染症対象菌を抽出条件として、菌の分布状況が表示可能なこと。		
2-5-1-2	感染菌期間別分布、感染菌病棟別分布が表示できること。		
2-5-2	MRSA感染率機能について以下の要件を満たすこと。		
2-5-2-1	指定された年のMRSA感染率を病棟、月ごとに表示できること。		
2-5-2-2	指定された年の一年前の平均値、閾値が病棟ごとに表示できること。		
2-5-2-3	感染率の分子が「検出患者数」「新規検出患者数」「感染患者数」から選択できること。		
2-5-3	特定菌検出入院患者の移動履歴表示機能について以下の要件を満たすこと。		
2-5-3-1	注目する耐性菌、院内感染菌、無菌材料を期間指定して病棟ごとに対象患者を一覧表示できること。		
2-5-3-2	一覧表示された患者の移動情報および検出された注目菌が日ごとに表示できること。		
2-5-3-3	検出された注目菌の検体（材料）グループごとに表示ができること。		
2-5-4	菌の検出情報を病棟マップイメージに出力する機能について以下の要件を満たすこと。		
2-5-4-1	期間、菌種の条件指定により、感染症対象菌検出者を病棟のMAPに表示可能なこと。		
2-5-4-2	現在入院している患者情報をもとに、菌種の条件指定により、感染症対象菌検出者を病棟のMAPに表示可能なこと。2-5-2-1と画面を切り替えてもよい。		
2-5-4-3	病棟⇒フロア⇒病室に画面切り替えができること。		
2-5-4-4	指定病棟・フロア・病室の患者一覧を表示できること。		
2-5-4-5	一覧表示された患者の細菌検査履歴を一覧表示できること。		
2-5-4-6	病棟イメージマップは指定した期間内で1操作（1クリック）で移動情報を表示できること。		
2-5-4-7	病棟イメージマップには、微生物検査結果がなくICTが感染症と診断した対象患者も表示ができること。		
2-5-4-8	病棟イメージは感染防止を目的とした前向き調査用と、感染経路の調査を目的とした後ろ向き調査用の切替表示が行えること。		
2-5-5	交差感染調査機能を有すること。また、以下の要件を満たすこと。		
2-5-5-1	入院移動情報と検出菌情報を同時に表示できること		
2-5-5-2	一覧表示された患者の移動情報および検出された注目菌が日ごとに表示できること。		
2-5-5-3	1患者に着目し、その患者と所属患者のみを一覧できる機能を有すること。		
2-5-5-4	交差感染対象患者が保菌している薬剤感受性パターンを任意に選択し表示できること。		
2-5-5-5	交差感染状況の表示から対象菌の表示とその薬剤感受性パターンを色別表示しその薬剤項目はICTが任意に選択できること。		
2-5-5-6	交差感染状況における薬剤感受性結果表示は判定値による判断以外にMIC数値判断も可能であること。		
2-5-6	入院患者の同室患者表示機能について以下の要件を満たすこと。		

項番	要件	回答	補足説明
2-5-6-1	指定した患者の病室に在室した患者のリストが抽出できること。		
2-5-6-2	同日に複数所属病室に所属した時には複数の病室が同時に表示できること。		
2-5-6-3	同室患者リストはエクセルファイルへ出力可能なこと。		
2-6	サーベイランス支援機能について以下の要件を満たすこと。		
2-6-1	尿路感染率機能について以下の要件を満たすこと。		
2-6-1-1	指定された期間から1年間を病棟、月毎に感染率表示できること。		
2-6-1-2	指定された期間と期間の感染率を比較表示できること。		
2-6-1-3	感染件数、デバイス使用延べ日数、入院患者延べ日数、入院日数感染率、デバイス感染率、デバイス使用比が表示できること。		
2-6-2	血流感染率機能について以下の要件を満たすこと。		
2-6-2-1	指定された期間から1年間を病棟、月毎に感染率表示できること。		
2-6-2-2	指定された期間と期間の感染率を比較表示できること。		
2-6-2-3	感染件数、デバイス使用延べ日数、入院患者延べ日数、入院日数感染率、デバイス感染率、デバイス使用比が表示できること。		
2-6-3	VAP感染率機能について以下の要件を満たすこと。		
2-6-3-1	指定された期間から1年間を病棟、月毎に感染率表示できること。		
2-6-3-2	指定された期間と期間の感染率を比較表示できること。		
2-6-3-3	感染件数、デバイス使用延べ日数、入院患者延べ日数、入院日数感染率、デバイス感染率、デバイス使用比が表示できること。		
2-6-4	デバイス感染率機能について以下の要件を満たすこと。		
2-6-4-1	指定された期間で血流、尿路、VAPの感染率を表示できること。		
2-6-4-2	マスクに取り込んだNHSNの値と比較表示できること。		
2-6-5	診療科別SSI機能について以下の要件を満たすこと。		
2-6-5-1	指定された期間から1年間を診療科、月毎に感染率表示できること。		
2-6-5-2	指定された期間と期間の感染率を比較表示できること。		
2-6-5-3	感染件数、手術をうけた患者数、診療科毎の感染件数、手術をうけた患者数、感染率が表示できること。		
2-6-6	術式SSI機能について以下の要件を満たすこと。		
2-6-6-1	指定された期間から1年間を手術手技、月毎に感染率表示できること。		
2-6-6-2	指定された期間と期間の感染率を比較表示できること。		
2-6-6-3	感染件数、手術をうけた患者数、手術手技毎の感染件数、手術をうけた患者数、感染率が表示できること。		
2-6-7	リスク係数SSI機能について以下の要件を満たすこと。		
2-6-7-1	指定された期間で手術手技、リスク係数毎の感染率が表示できること。		
2-6-7-2	マスクに設定したNHSNの基準値と比較表示できること。		
2-6-8	厚生労働省のJANIS SSI部門の出力フォーマットに対応していること。		
2-7	抗菌薬使用状況機能について以下の要件を満たすこと。		
2-7-1	抗菌薬使用状況機能について以下の要件を満たすこと。		
2-7-1-1	投与薬、期間を指定して薬剤グループおよび薬剤、病棟ごとに投与回数を表示できること。		
2-7-1-2	投与回数を指定して対象となる抗菌薬使用患者リストを表示できること。		
2-7-2	抗菌薬使用患者リスト機能について以下の要件を満たすこと。		
2-7-2-1	指定された期間、投与薬、病棟で薬剤を投与された患者の一覧を表示できること。		
2-8	針刺し曝露報告入力支援機能について以下の要件を満たすこと。		

項番	要件	回答	補足説明
2-8-1	針刺し・曝露報告入力支援機能について以下の要件を満たすこと。		
2-8-1-1	針刺し・切創報告書をシステム上で入力できること。		
2-8-1-2	皮膚・粘膜汚染報告書をシステム上で入力できること。		
2-8-1-3	入力された情報を入力の見逃し情報と共に一覧表示できること。		
2-8-1-4	入力された情報をEpisysへ出力できること。		
2-7	職業感染予防のための情報収集・管理機能として以下の要件を満たすこと。		
2-7-1	病院職員のワクチンおよび検査結果の履歴等のデータ管理機能を有すること。		
2-7-2	病院職員のワクチンおよび検査結果のデータは抽出条件に合わせて、抽出できること。		
2-7-3	病院職員のワクチンおよび検査結果のデータは手入力可能なこと。		
2-7-4	病院職員のワクチンおよび検査結果のデータをファイル形式での取込が可能であること。		
2-7-5	病院職員のワクチンおよび検査結果のデータをファイル形式での取込が可能であること		
2-7-6	病院職員のワクチンおよび検査結果を名札挿入可能な個人票を出力できること。		
2-7-7	病院職員のワクチンおよび検査の案内を帳票として出力できること。		
2-8	院内の他システムとの連携について以下の要件を満たすこと。		
2-8-1	院内システム(院内システムとは電子カルテもしくはオーダーリングシステムを示す)と、ソケット通信インターフェイスで情報の連携が可能なこと。		
2-8-2	院内システムから、体温などのバイタル情報および、CVカテーテルなどのデバイス情報を取込むことができる		院内システムで管理されている情報のみが対象となり
2-8-3	院内システムから、転科、転病などの入退院情報を取り込むことができること。		院内システムで管理されている情報のみが対象となり
2-8-4	院内システムから、患者氏名など患者基本情報を取り込みができること。		院内システムで管理されている情報のみが対象となり
2-8-5	院内システムから、CRP、WBCなどの生化学検査結果データの取込取込むことができること。		院内システムで管理されている情報のみが対象となり
2-8-6	院内システムから、注射、処方薬の抗菌薬投与情報を取り込むことができること。		院内システムで管理されている情報のみが対象となり
2-8-7	院内システムから、手術手技などの手術実施情報を取り込むことができること。		院内システムで管理されている情報のみが対象となり
2-8-8	院内システムから、本システムへのシステム起動(リンク)が可能であること。		